

第14回 観光戦略実行推進タスクフォース 議事要旨

1. 日時：平成29年9月20日（水）13:30-14:30

2. 場所：首相官邸4階大会議室

3. 出席者：

（政府側）

菅内閣官房長官、石井国土交通大臣、梶山内閣府特命担当大臣、野上内閣官房副長官、杉田内閣官房副長官、和泉内閣総理大臣補佐官、古谷内閣官房副長官補、平井内閣官房内閣審議官、水嶋内閣官房内閣審議官兼観光庁次長、山根内閣官房行政改革推進本部事務局次長、頼内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長、平垣内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局企画・推進統括官、井野内閣府大臣官房総括審議官、野村宮内庁長官官房審議官、加藤警察庁長官官房審議官、遠藤金融庁監督局長、川口消費者庁次長、角田復興庁統括官付審議官、武田総務省大臣官房総括審議官、和田法務省入国管理局長、相星外務省領事局長、飯塚財務省関税局長、常盤文部科学省生涯学習政策局長、宮田文化庁長官、中岡文化庁次長、吉永厚生労働省大臣官房審議官、荒川農林水産省農村振興局長、小瀬経済産業省大臣官房審議官、由木国土交通省総合政策局長、亀澤環境省自然環境局長、榎道防衛省大臣官房審議官、田村観光庁長官

（有識者・敬称略）

デービッド・アトキンソン（株式会社小西美術工藝社代表取締役社長）

4. 議題：・組織再編に伴う構成員の一部変更について

・観光ビジョン実現プログラム2017のフォローアップ

・魅力ある公的施設・インフラの大胆な公開・開放

・文化財の観光資源としての開花

・国立公園の「ナショナルパーク」としてのブランド化

・新たな観光資源の開拓

・訪日プロモーションの戦略的高度化及び多様な魅力の対外発信強化

5. 議事概要

○冒頭、事務局より、組織再編に伴う観光戦略実行推進タスクフォース構成員の変更について報告。

○「観光ビジョン実現プログラム2017」に掲げた施策について、内閣府、宮内庁、国土交通省、文化庁、環境省、観光庁より取組状況を説明。

○意見交換において、有識者より以下のご発言あり。

【デービッド・アトキンソン氏】

- ・桂離宮において、民間活用や積極的な情報提供を行い、魅力向上を図るべき。
- ・文化財の英語解説と多言語対応、音声ガイド等々を早急に充実すべき。
- ・文化財は国立公園内にある、または隣接しているものも多くあるので、文化庁は環境省とも連携をすべき。

○梶山地方創生担当大臣、石井国土交通大臣、菅内閣官房長官よりご発言。主な内容は以下のとおり。

【梶山地方創生担当大臣】

- ・地方創生において、今年度が5か年のまち・ひと・しごと創生総合戦略の中間年に当たるが、観光は旺盛なインバウンド需要の取り込みなどにより、交流人口を拡大させ、地域を活性化させる原動力となるものであり、地方創生にとって大変重要なテーマである。
- ・地域の個性を生かした魅力ある観光地域づくりやその地域の魅力の発信を効果的に進めるためには、本日のタスクフォースのテーマでもある、文化財や国立公園などの多様な地域資源の更なる磨き上げやプロモーションの推進が必要。
- ・今後も、観光地域づくりを行う舵取り役となるDMOの形成・確率を含めて、地域が行う観光振興の取組に対して、地方創生推進交付金等により積極的に支援を行ってまいりたい。

【石井国土交通大臣】

- ・今回の観光戦略実行推進タスクフォースでは、5月のタスクフォースでとりまとめた公的施設や文化財の保存と活用、新たな観光資源の開拓、JNTOの大胆な改革という3つの新たな施策を中心に、各府省庁からヒアリングを行った。
- ・今後、国土交通省としても、他府省庁と連携して、一つ目は、新たな体験型アクティビティの充実、ナイトタイム・モーニングタイムの有効活用、シアター等でのチケット購入手続きの容易化など、新たな観光資源の開拓に向けた取組の加速化、二つ目は、欧米豪の訪日無関心層を取り込むための訪日グローバルキャンペーンの展開やJNTOのウェブサイト・アプリを活用したデジタルマーケティングの本格導入、三つ目は、魅力ある公的施設・インフラの大胆な公開・開放に積極的に取り組む。
- ・各府省庁においても、「観光ビジョン」に掲げられた施策を深め、加速化していただくようお願いする。

【菅内閣官房長官】

- ・観光を成長戦略の柱、地方創生の切り札と位置づけ、ビザの戦略的な緩和、免税品の大幅拡充など、大胆な取組を実行してきた。この結果、昨年の訪日外国人は2,400万人を超え、今年に入ってから2割近い伸びで、3,000万人に迫る勢いである。
- ・この勢いを継続し、2020年4,000万人の目標を実現するためには「観光ビジョン」

の施策を、スピード感を持って確実に実行していくことが大事である。

- ・ 本日は、各省庁からの取組状況について報告を受け、赤坂迎賓館などの公的施設の公開、文化財や国立公園の活用、新たな観光資源の開拓、プロモーションの大胆な改革について、取組の進捗を確認した。
- ・ 公的施設の更なる開放など、各省庁は今回報告された取組に満足することなく、さらに高い次元で、そして、広く展開していただくようお願い申し上げる。
- ・ 安倍政権としては、国内外の方々にわが国の観光を楽しんでいただき、地域活性化が実現することを目指し、引き続き、政府一丸となって取り組んでまいりますので、関係省庁も協力してほしい。

○水嶋内閣官房内閣審議官より閉会

- ・ 本日の第14回会合はここで閉会する。なお、次回日程は追って連絡する。

以 上